

教科	出版社	理由
音楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の表現方法について、写真やイラストを用いて示している教材が豊富である。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入の際、指番号が示されているため、技術指導に役立てられる。 ・鑑賞教材において、わらべうた、民謡、和楽器、雅楽など、幅広く日本の音楽が取り上げられており、我が国の音楽を大切にする心を育む内容になっている。 ・巻末の資料に、「振り返りのページ」が設けられ、掲載されている教材の内容を用いながら1年間の学びがまとめられている。 ・作曲者の情報や演奏形態などの資料が充実している。